

令和4年度第1回宗像市下水道事業運営審議会 議事録

日時：令和4年6月28日（火）

14：00～15：45

場所：宗像終末処理場

審議会委員

出欠	名前								
○	久場委員	○	寺嶋委員	○	外園委員	○	瀧口委員	○	伊庭委員
○	原口委員	○	嶺委員	○	國廣委員	○	佐藤委員		

事務局（都市整備部：増野 下水道課：楠、高武、永見、石松、寺嶋、安部、林田、橋本）

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 部長挨拶
4. 委員及び事務局職員紹介
5. 会長の互選及び副会長の任命

会長：久場委員 副会長：寺嶋委員

6. 会長及び副会長挨拶
7. 審議事項

（1）審議会の運営について

事務局説明

委員名簿を公表する必要があること、審議会は原則公開する必要があるため傍聴を認める必要があることを説明。また、傍聴者の取扱要領案を示した。

質疑等

○質疑はなく、名簿に関しては資料1を掲載し、傍聴については、「宗像市下水道事業運営審議会の傍聴に関する取扱要領案」のとおりとすることが承認された。

事務局説明

会議の議事録を作成し、公表する必要があることを説明。議事録の作成方法として、全文筆記で記録する方法、発言者ごとの要点をまとめ記録する方法、会議の要点のみを記録する方法の3つがあることを説明。また、発言者の記載方法として、個人名をいれるか、会長・

副会長・委員とするかなど問いかけた。

質疑等

【委員】

自由に発言をするのであればオフレコが必要ではなかろうか。

【会長】

全文で記録だけは残しておき、公表する際にどのようなやり方で発言を記録するか改めて決めれば良いのではなかろうか。

【事務局】

言いたいことが言えなくなる可能性があるため、ホームページには要点だけを載せたいと考えている。

【委員】

今まで幾つか委員会に出席したが、ホームページに公開するものは、要点だけを書いているケースが多く、ホームページで公開するのであれば、委員長、副委員長、委員という書き方が良いのではなかろうか。

○他に質疑等はなく、全文筆記で記録は残すこと、公表するものに関しては、会議内容の要点をまとめたものを公表し、発言者は会長・副会長・委員という形で記載し公表することで審議を諮り承認された。

また、議事録案の完成後に委員へメール等で送付し、確認していただいたあとにホームページで公表することとした。

8. 事業説明

(1) 下水道事業の概要及び今後の課題について

事務局説明

全国の下水道事業の概要、宗像市の下水道事業の概要及び今後の審議会について説明。

質疑等

【委員】

経営戦略は、今見直しをしているのか。

【事務局】

案は作成しているが、投資の部分で不確定なところがあるため、いろいろな意見を反映させて修正したいと考えている。

【委員】

下水道管と処理場の老朽化がこの審議会で話し合う課題だと捉えてよかろうか。

【事務局】

この審議会では、特にその中でも大きな費用がかかる処理場の今後について審議いただきたい。このまま更新という形を続け今の状況を保持していくのか、もしくは、老朽化した施設を新たにリニューアルして運用を始めていくのかなどの投資計画を経営戦略に反映していく必要があるため、ここで審議してほしい。

【委員】

老朽化をどのように乗り越えていくかを、私たちが一緒に考えていくということによろしいか。

【事務局】

そうだ。

【会長】

管路の腐食で陥没事故が起こったなどの事例は、宗像市内では発生していないのか。

【事務局】

年々調査をしているが、今のところ悪い状況の管はない。今後も管口カメラでの調査を続けていき、悪いところがあれば本管カメラを入れ工事に入りたい。

【会長】

浸入水調査は行っているのか。

【事務局】

調査を行っており、必要に応じてライニング（管更生）などを行っている。

【副会長】

管の更新や改修工事は、50年たって古くなったものから行うのか。それとも、何か問題があったものから対処していくのか。

【事務局】

古い年代ごと、それと重要度をマトリックスで掛け合わせた上で、優先順位をつけて調査をしている。その調査に基づき、何か問題や不具合があった箇所の補修、修理を行っている。

【副会長】

バイオマス産業都市構想の中の消化ガス発電事業と下水処理場の消化ガスがリンクしているということか。

【事務局】

バイオマス産業都市構想の中に、終末処理場の消化ガス発電事業が位置づけられている。

【副会長】

この都市構想は平成27年7月にできて、今も事業として続いているのか。

【事務局】

終末処理場の消化ガス発電事業自体は構想として続いている。

【副会長】

バイオマス産業都市構想には期間が定められていないのか。

【事務局】

産業都市構想自体は環境課が主管しており、今後のことは下水道課としては把握していないため、次回までに環境課に尋ねて調べておく。

【委員】

下水道管は580キロもあり、やみくもに調査するにはお金がかかる。そのため、予算を見ながら慎重に行う必要があるのではなかろうか。費用と対応しながら、こつこつとやっていくしか方法はないと思う。

【委員】

ストックマネジメント計画をもとに危険度を判断し、危険な場所から優先的に工事をやっていくことが事故を起こさないための最適な投資だと思う。下水ストックマネジメント計画をいかに的確につくっていくかが、費用対効果の中で一番重要になってくると考える。処理場の更新計画に対して事務局としてはどういったイメージを持っているのか。

【事務局】

今から基本的な構想をつくっていき、最終的な計画や内容に関しては、当市における行政運営の基本方針及び重要施策の審議決定を行う会議である庁議で決めることになる。処理場の更新

案をこの審議会で示し、委員の意見を踏まえ修正していきながらつくり上げ、それを庁議の中で提案し、修正を図りながらつくっていくようなイメージを持っている。

9. その他

次回開催日：令和4年7月20日 14時00分から

10. 閉会

—— 終了 ——